

<標準入力法>

- 建物用途および室用途（大分類）の選択肢の「大規模物販店」を「百貨店等」へ変更しました。
- 建材の熱伝導率の直接入力に対応しました。
- 塗膜の日射吸収率を考慮した日射熱取得に関する計算方法へ対応しました。
- 給湯配管の保温仕様の変更へ対応しました。
- 以上に伴い、下記のように入力シートを変更しました。
 - 様式 1. 室仕様入力シート
 - 列「室用途」を大分類と小分類の2列に分割
 - 列「モデル建物」の名称を「建築物の名称」へ変更
 - 様式 2-2. 外壁構成入力シート
 - 列「熱伝導率」を追加
 - 列「日射吸収率」を追加
 - 様式 5-2. 給湯機器入力シート
 - 列「配管保温仕様」の選択肢に「保温仕様 A」「保温仕様 B」「保温仕様 C」「保温仕様 D」を追加
- 入力シートの Excel マクロを廃止しました。（CSV 出力機能廃止）
- 新しい入力シートへの変換機能を追加しました。
- API のエンドポイントを <https://api.lowenergy.jp/building/3/> へ変更しました。（従来のエンドポイントは非推奨となります）
- ファイルのアップロード方法についてサポートを拡大しました。（ダイアログからアップロードするファイルを選択できるようにしました）
- 既存の不具合を修正しました。
 - 誘導 BEI の基準値計算時に誤差が発生する不具合を修正しました。
 - 様式 1 の室用途-大分類が共同住宅のみの場合、コージェネ計算時にエラーが発生する不具合を修正しました。
 - API 経由で PDF を生成した場合のエラーメッセージが Web 画面経由と異なっていたため、同一のエラーメッセージを出力するように修正しました。
 - 様式 3-3 の熱源効率（一次換算値）が未入力の場合にエラーメッセージを出力するように修正しました。
 - 入力シートの備考欄にのみ記入されている行がある場合にエラーが発生する不具合を修正し、該当する行を無視するように変更しました。

以上

<モデル建物法>

- 換気設備のインバータ有無の指定に対応しました。
- 給湯配管の保温仕様の変更に対応しました。
- 以上に伴い、入力シートを変更しました。
 - 様式 D. 換気入力シート
 - 列「インバータ」を追加
 - 様式 F. 給湯入力シート
 - 列「配管保温仕様」の選択肢に「保温仕様 A」「保温仕様 B」「保温仕様 C」「保温仕様 D」を追加
- 画面入力による計算機能を削除しました。
- 入力シートの Excel マクロを廃止しました。(入力確認機能及び、CSV 出力機能廃止)
- 新しい入力シートへの変換機能を追加しました。
- API のエンドポイントを <https://api.lowenergy.jp/model/1/> へ変更しました。
 - (従来のエンドポイントは非推奨となります)
- ファイルのアップロード方法についてサポートを拡大しました。
 - (ダイアログからアップロードするファイルを選択できるようにしました)
- 軽微変更確認用テキストの出力機能を追加しました。
- 「モデル建物法複数用途集計ツール」を「モデル建物法入力支援ツール」に統合しました。
- ファイルアップロード時のエラーメッセージを調整しました。
- 既存の不具合を修正しました。
 - 誘導 BEIm の基準値計算時に誤差が発生する不具合を修正しました。
 - 集会所モデルにおける BEIm 計算時、様式 2-4 の外皮面積(外壁および窓; = ピロティ床と屋根を除くすべての外壁)の面積が 0 になる不具合を修正しました。
 - 集会所モデルにおける BEIm 計算時、様式 2-2 の熱貫流率が外壁と屋根で入れ違いになる不具合を修正しました。
 - 標準入力法の CSV ファイル生成時、様式 0 に「他人から供給された熱」の一次エネルギー換算値が出力されない不具合を修正しました。
 - 入力シート様式 B-1, B-2 でバリデーションエラーが発生した場合、様式 B-3 のバリデーションをスキップするように変更しました。

以上

<小規模版モデル建物法>

- 変更はありません。

○入力シートの互換性について

- Ver.3.3 以前の入力シートのアップロードは継続して受け付けます。Ver.3.4 で計算するために新たに入力シートを作成しなおす必要はありません。
- 標準入力の入力シートについては、Ver.3.3 以前の入力シートを Ver.3.4 の入力シートに自動変換できます。ただし、入力が不完全等の理由により計算ができない入力シートは変換できません。

以上